

II 暮らしの向上

10 エネルギー政策の推進

主担当部局(長)名
地域振興部長 村田 崇

目指す姿

地域における様々な取組主体が、生活や産業活動において再生可能エネルギー等の多様なエネルギーの利活用を促進するとともに、省エネ・節電に取り組むことで、分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給を目指します。

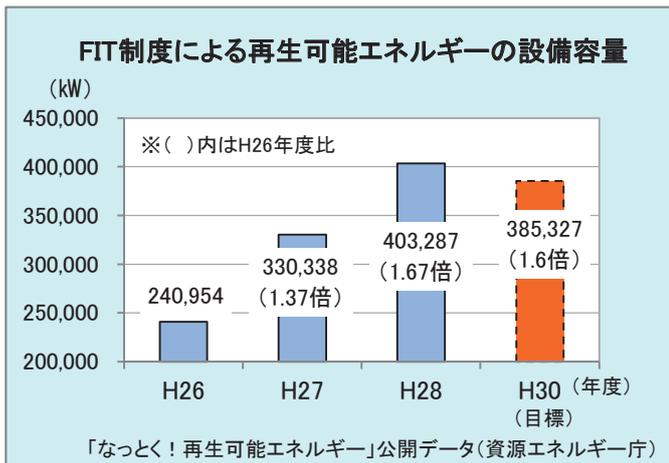


小水力発電設備(御所浄水場)

これまでの成果

- ・節電協議会の枠組みを通じての節電の呼びかけ等により、平成28年度の電力使用量は、平成26年度比2.8%減(目標:H30年度で3.5%低減)となりました。
- ・県のスマートハウス普及促進補助等の活用により、平成28年度の太陽熱システムの利用熱量は、平成26年度比1,801MJ/h増(目標:H30年度で2,000MJ/h増)となりました。
- ・グリーンニューディール基金を活用し、平成26年度からの3か年で、県・市町村等合計55カ所において、太陽光発電、ソーラー街路灯、小水力発電等の再生可能エネルギーを活用した非常用の設備を整備しました。

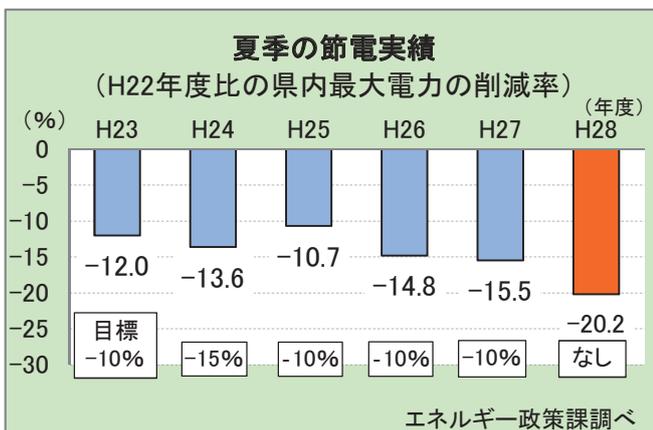
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成30年度の再生可能エネルギーの設備容量について、平成26年度比の1.6倍を目指します。
取組	再生可能エネルギー導入にかかる事業化可能性検討や設備整備に対する支援等を行いました。
成果	国のFIT(再生可能エネルギー固定価格買取)制度や、県の融資制度等の活用により、平成28年度の再生可能エネルギーの設備容量は、平成26年度比1.67倍と、目標を超える進捗となりました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①再生可能エネルギー等の導入を地域の取組として広めます。 ②年間を通じてエネルギーを効率的に利用するライフスタイルへの変換を目指します。
------	-------------------------------------------------------------------------



取組	夏の節電キャンペーンを実施しました。(②)
成果	平成28年度夏季は節電目標を設定しませんでした。が、夏季節電キャンペーン等の啓発活動実施等により、平成28年度夏季の節電実績は、最大電力が平成22年度比で20.2%減となりました。 ※最大電力:1時間当たりの電力量が、期間中で最大になった時点の値(単位:kWh)